



Östasiatiska museet

# デジタルアーカイブ学会 第2回研究大会

## ー産業化するアーカイブー



**日時** 2018年3月9日(金)～10日(土)

**場所** 東京大学本郷キャンパス  
東京都文京区本郷 7-3-1

**3/9(金)** 医学部鉄門記念講堂 (14:00-17:30)

**参加費** 正会員・賛助会員 3,000円、学生会員 2,000円、非会員 6,000円、1日のみ参加の場合 1,000円割り引き

**3/10(土)** 法学政治学系総合教育棟(ガラス棟)  
(10:00-18:00)

### 基調講演

「コンテンツ産業とデジタルアーカイブ」(仮題)  
角川 歴彦 ((株) KADOKAWA 取締役会長)

### パネルディスカッション

「デジタルアーカイブ産業の未来を拓く」

緒方 靖弘 (寺田倉庫メディアグループリーダー)  
高野 明彦 (国立情報学研究所 教授) (モデレーター)  
野口 祐子 (グーグル合同会社 法務部長)  
沢辺 均 (株式会社スタジオ・ポット社長)

### 一般発表 セッション・テーマ

A1: コミュニティとアーカイブ  
A2: 人々の営みのデジタルアーカイブ  
A3: デジタルアーカイブの理論 (1)  
A4: デジタルアーカイブの理論 (2)  
B1: ミュージアムとデジタルアーカイブ  
B2: デジタルアーカイブの活用  
B3: デジタルアーカイブの手法 (1)  
C1: グローバルな視点とローカルな視点  
C2: 市民から見たデジタルアーカイブ  
C3: デジタルアーカイブの手法 (2)

### 企画パネル

(1) デジタルアーカイブ機関の評価手法を考える  
(2) 資料発掘と利活用 -アーカイブサミット 2017in 京都へのリブライ-

### 後援・協賛

一般財団法人角川文化振興財団 (予定)  
デジタルアーカイブ推進コンソーシアム (予定)  
一般財団法人デジタル文化財創出機構 (予定)

### 後援

日本アーカイブズ学会  
記録管理学会  
情報知識学会  
情報メディア学会  
日本デジタル・ヒューマニティーズ学会

文化資源学会  
日本教育情報学会  
日本出版学会  
東京文化資源会議  
全国歴史資料保存利用機関連絡協議会  
情報保存研究会  
本の未来基金

<http://digitalarchivejapan.org/kenkyutaiikai>

お問合せ: 研究大会事務局: [taikai@digitalarchivejapan.org](mailto:taikai@digitalarchivejapan.org)

# 口頭発表プログラム (2018/3/10) 法学政治学系総合教育棟 ( ガラス棟 )

ガラス棟 201号室 (2F)		ガラス棟 101号室 (1F)		ガラス棟 102号室 (1F)	
研究発表セッション A1 (10:00 - 11:40)		研究発表セッション B1 (10:00 - 11:40)		研究発表セッション C1 (10:00 - 11:40)	
コミュニティとアーカイブ (坂井知志)		ミュージアムとデジタルアーカイブ (田良鳥哲)		グローバルな視点とローカルな視点 (原田隆史)	
A11	Web ラジオによる社会デザインとソーシャルイノベーションの可能性 (長坂 俊成 立教大学)	B11	自然史標本データベース「サイエンス・ミュージアムネット」の現状と課題 (細矢 剛 国立科学博物館)	C11	オープンソースを使用した市町村立図書館におけるデジタルアーカイブ構築 (山口 学 佐野市立図書館)
A12	東日本大震災後のコミュニティアーカイブの活動 (北村 美和子 東北大学)	B12	江戸時代の歌舞伎興行に関する資料デジタルアーカイブの充実を目指して (木村 涼 岐阜女子大学)	C12	佐賀デジタルミュージアムの構築 (河道 威 佐賀大学)
A13	地方大学の歩みを記録するデジタルアーカイブ (皆川 雅章 札幌学院大学)	B13	ウェブブラウザでの3Dデータ資料表示 (土屋 紳一 早稲田大学演劇博物館)	C13	地域学習を広く支援する分散型デジタルcommonsの概念 (前川 道博 長野大学)
A14	地域新聞からみる地域特有のメタデータ (石橋 豊之 稚内北星学園大学)	B14	デジタル・アーカイブがもたらす「博物館資料」×「引用先学術成果情報」間のクロスリファレンスの可能性 (大西 亘 神奈川県立生命の星・地球博物館)	C14	国際的な画像共有の枠組みIIIFの課題と展望 (永崎 研宣 人文情報学研究所)
ライトニングトーク 1 (11:40-12:10)		ライトニングトーク 2 (11:40-12:10)		ライトニングトーク 3 (11:40-12:10)	
休憩・昼食 (12:10 - 13:30)					
研究発表セッション A2 (13:30 - 15:10)		研究発表セッション B2 (13:30 - 15:10)		研究発表セッション C2 (13:30 - 15:10)	
人々の営みのデジタルアーカイブ (井上透)		デジタルアーカイブの活用 (長坂俊成)		市民から見たデジタルアーカイブ (皆川雅章)	
A21	労働史オーラルヒストリー・プロジェクト (谷合 佳代子 エル・ライブラリー)	B21	IIIFの研究活用と課題 「顔貌データセット」構築を事例に (鈴木 親彦 人文学オープンデータ共同利用センター)	C21	「日本ニュース」は何を伝えたのか (アリアナ・ドゥッゼル ルーヴアンカトリック大学大学院)
A22	地域文化資源デジタルアーカイブの方法論 (宮本 隆史 東京大学)	B22	デジタルアーキビスト講座の取り組み (塩 雅之 常磐大学)	C22	地域資料をアーカイブする手法としてのウィキペディアタウン、またはウィキペディアとウィキメディア・commons (日下 九八)
A23	伝統技術継承者によるデジタルアーカイブ化の実例と課題 (金城 弥生 日本織物文化研究会)	B23	地域デジタル映像アーカイブの教育活用に関する実践的研究 (北村 順生 立命館大学)	C23	Lesson learned from the Aceh Tsunami of 2004: (Nurjanah Jane Tokyo Metropolitan University)
A24	自然災害により被災した動的映像資料の災害対策 (鈴木 伸和 株式会社東京光音)	B24	日本語デジタルテキストの「正書法」を採求した青空文庫 (大久保 ゆう 本の未来基金/青空文庫)	C24	市民とデジタルアーカイブの関係性構築 (田村 賢哉 首都大学東京大学院)
休憩 (15:10 - 15:20)					
研究発表セッション A3 (15:20 - 16:10)		研究発表セッション B3 (15:20 - 16:10)		研究発表セッション C3 (15:20 - 16:10)	
デジタルアーカイブの理論 (1) (生貝直人)		デジタルアーカイブの手法 (1) (大向一輝)		デジタルアーカイブの手法 (2) (宮本聖二)	
A31	オープンサイエンス政策と研究データ同盟 (RDA) が進める研究データ共有と、デジタルアーカイブの接点に関する一考察 (林 和弘 科学技術・学術政策研究所)	B31	非接触式イメージスキャナ「オルソスキャナ」の開発 (一ノ瀬 修一 アイメジャー株式会社)	C31	地方自治体が公開する例規集アーカイブの構築と横断検索システムの構築 (原田 隆史 同志社大学)
A32	デジタルアーカイブに関する評価方法の検討 (西川 開 筑波大学大学院)	B32	Cyberforest: 原生自然の環境感性情報の配信とアーカイブの利用 (下徳 大祐 東京大学大学院)	C32	飛騨高山匠の技デジタルアーカイブを活用した地域課題の解決手法の実践的研究 (久世 均 岐阜女子大学)
休憩 (16:10 - 16:20)					
研究発表セッション A4 (16:20 - 17:35)		企画パネル1 (16:20 - 17:35)		企画パネル2 (16:20 - 17:35)	
デジタルアーカイブの理論 (2) (長丁光則)		デジタルアーカイブ機関の評価手法を考える		資料発掘と利活用 -アーカイブサミット2017in 京都へのリプライ-	
A41	コミュニティアーカイブの現状と課題 (坂井 知志 常磐大学)	<b>コーディネーター:</b> 後藤真 (国立歴史民俗博物館) 田良鳥哲 (東京国立博物館)		<b>コーディネーター:</b> 福島幸宏 (京都府立図書館) 江上敏哲 (国際日本文化研究センター)	
A42	アーカイブズの語源アルケイオンをオンライン・ソースで調べてみる (筒井 弥生)				
A43	服飾分野における機関横断型デジタルアーカイブ構築に向けて (金井 光代 文化学園大学)				
ラップアップ・セッション (17:35 - 18:00)					

# ポスター発表プログラム (2018/3/10) 法学政治学系総合教育棟 ( ガラス棟 203 号室 (2F))

NO	発表のタイトル	名前	所属
P01	我が国における地方紙のデジタル化状況に関する調査報告	平野 桃子	東京大学大学院情報学環
P02	日本古典籍に関する総合データベースの構築と展開	岡田 一祐	国文学研究資料館
P03	自然史博物館で動画をアーカイブする際に想定される課題	石田 悠	大阪市立自然史博物館
P04	半世紀前の岩波科学教育映画を現代に活かす	長谷川 智子	映像と科学教育の研究会
P05	マンガ・アニメ・ゲーム作品の横断的アーカイブのための作品間関係LODデータセット開発	大石 康介	筑波大学
P06	デジタルアーカイブにおけるDOI活用の可能性	住本 研一	国立研究開発法人科学技術振興機構
P07	若年層の地域理解を促進するためのシリアスゲームの提案	山浦 徹也	首都大学東京大学院
P08	米国大学に所蔵されている対日文化政策に関する占領期資料のデジタル化及び公開	小泉 真理子	京都精華大学
P09	デジタルアースを用いたドローンマップ&アーカイブによる風景資産の活用	渡邊 康太	首都大学東京
P10	戦争を日中両国の視点から捉えるためのデジタルアーカイブ	シン テンカ	首都大学東京
P11	デジタルアーカイブと併用する学び手志向の平和学習教材の制作	秦 那実	首都大学東京大学院

# 企業展示 (2018/3/10) 法学政治学系総合教育棟 ( ガラス棟 203 号室 (2F))

(50音順) アイメジャー株式会社、株式会社サビア、一般社団法人 ジャパンアーカイブズ、ソニービジネスソリューション株式会社、富士フィルム株式会社、TRC-ADEAC 株式会社、株式会社 東京光音、特定非営利活動法人日本デジタル・アーキビスト資格認定機構、勉強出版